

# 記者発表(展示説明)のお知らせ

令和4年 11 月 29 日

各報道機関 様

京都府立丹後郷土資料館

企画展「サンパチー豪雪と山村の暮らしをめぐる 60 年ー」の記者発表(展示説明)を下記のとおり行いますので、お知らせします。

なお、当日御都合のつかない場合は、後日でも説明させていただきますので、事前に御連絡願います。

## 記

日 時 : 令和4年 12 月 23 日(金) 午前 11 時から  
場 所 : 府立丹後郷土資料館

### 企画展 サンパチー豪雪と山村の暮らしをめぐる 60 年ー(別添開催要項)

- 1 会 期 / 令和4年 12 月 24 日(土) ~ 令和5年4月9日(日)
- 2 会 場 / ふるさとミュージアム丹後(京都府立丹後郷土資料館)  
宮津市宇国分小字天王山 611-1
- 3 開館時間 / 午前 9 時 ~ 午後 4 時 30 分
- 4 休館日 / 毎週月曜日(ただし、1月9日は開館し、翌日休館)
- 5 関連事業
  - (1)文化財講座 「消えない村ー京丹後の離村集落とその後ー」  
日時:令和5年1月 28 日(土) 13 時 30 分から  
会場:当館第一研修室  
講師:小山 元孝 氏  
(福知山公立大学地域経営学部教授・NPO 法人 TEAM 旦波)  
定員:30 名
  - (2)文化財講座 「旧世屋・野間の人々のくらしの中のいのり」  
日時:令和5年3月 11 日(土) 13 時 30 分から  
会場:当館第一研修室  
講師:小野 泰昭 氏(元与謝野町文化財審議会会長)  
定員:30 名

|      |               |
|------|---------------|
| 展示担当 | 資料課 青江 智洋     |
| 電話   | (0772)27-0230 |

## 企画展 開催要項

- 1 名称 企画展「サンパチー豪雪と山村の暮らしをめぐる 60 年」
- 2 会期 令和 4 年 12 月 24 日(土)から令和 5 年 4 月 9 日(日)まで  
開館日数：85 日間（会期 107 日のうち）  
休館日：毎週月曜日(ただし、1 月 9 日は開館し、翌日休館)  
開館時間：午前 9 時から午後 4 時 30 分まで
- 3 会場 京都府立丹後郷土資料館（京都府宮津市字国分小字天王山 611-1）  
TEL：0772-27-0230 FAX：0772-27-0020 URL：<http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/>
- 4 主催 京都府立丹後郷土資料館

### 5 開催趣旨

昭和 38 年（1963）1 月前後にかけて、大陸からの強い寒気団が日本列島を襲い、丹後半島は山間部を中心として未曾有の大雪に見舞われました。それは後に“昭和 38 年 1 月豪雪”または“サンパチ豪雪”と呼ばれ、今なお語り継がれています。この記録的な雪害の経験が引き金となり、山村に暮らす人々の離村が急速に進んだとされます。ただし、彼等が離村を選択した背景には、高度経済成長にともなう暮らしの変化、労働や子供の教育に関わる問題、資本主義経済や過疎化の影響等といった複雑な要因があったものと考えられます。

本展では、サンパチ豪雪から 60 年の節目にちなみ、山村の暮らしや文化を見つめ直す試みとして、当館が 50 余年に渡って収集してきた山村生活用具等を展示します。本展を通じて、“暮らしの豊かさ”とは何か、“丹後の廃村現象”から私たちが学ぶべきものは何か、という事について考えたいと思います。

### 6 展示内容・主な展示資料

#### (1) サンパチ豪雪と山村の暮らし

豪雪写真、丹後の山村生活用具（除雪用具ほか）、へき地教育関連資料

Topic 記録された山村生活 ー昭和 37 年度京都府民俗資料緊急調査事業ー

Topic 廃村生活用具（宮津市駒倉、京丹後市弥栄町吉津、同市弥栄町小脇）

#### (2) 山村の暮らしをめぐる 60 年

重要有形民俗文化財「丹後の紡織用具及び製品」、京都府指定有形民俗文化財「丹波・丹後の製紙用具及び製品」、養蚕用具、豆腐作り用具、パン焼鍋、宝くじ（日本政府第 9 回）

Topic 山村の芸能 ー福知山市大江町北原の烏田楽ー

Topic 雲原砂防と西原亀三

#### (3) 離村と望郷の記憶と記録

離村記念碑写真、離村記念誌（『忘れえぬ里力石』、『ふるさと吉津』ほか）

### 7 展示資料点数 合計約 100 点

## 8 関連事業

### (1) 文化財講座

演 題 「消えない村ー京丹後の離村集落とその後」  
日 時 1月28日(土) 午後1時30分から3時まで  
場 所 当館 第一研修室  
講 師 小山 元孝 氏 (福知山公立大学地域経営学部教授・NPO 法人 TEAM 且波)  
定 員 30名

### (2) 文化財講座

演 題 「旧世屋・野間の人々の暮らしの中のいのり」  
日 時 3月11日(土) 午後1時30分から3時まで  
場 所 当館 第一研修室  
講 師 小野 泰昭 氏 (元与謝野町文化財審議会会長)  
定 員 30名

## 9 協力機関・個人(敬称略・順不同)

京丹後市教育委員会、特定非営利活動法人わくわくする久美浜をつくる会、福知山公立大学、東世津子、岡田毅、小野泰昭、木下肇、小山元孝、津田文子、友松祐也、永江正明、藤原信雄、福田叔子、藤田泰弘、増田光夫、増田葉子、矢野文雄

## 10 入館料

一般 200 円 小中学生 50 円、団体割引(20 名以上)：一般 150 円 小中学生 40 円  
ただし、以下の方は無料。

- ・友の会会員、満 65 歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者
- ・「きょうと子育て応援パスポート」利用により児童を同伴された親または祖父母の方 1 名分
- ・小中学校等の学校教育活動の場合は申請により無料

## 11 その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によって、中止・変更・人数制限等を行うことがあります。

丹後の廃村現象から考える  
——暮らしの豊かさとは

企画展

—豪雪と山村の暮らしをめぐる60年—

# サンパチ

2022 Kyoto Prefectural  
Tango Regional Museum  
Special Exhibition

SANPACHI

—Sixty Years of Heavy Snowfall and Mountain Villages—



③

2022年

2023年

12月24日(土) - 4月9日(日)

休館日 月曜日(1/9は開館して翌日休館)、年末年始(12/28~1/4)  
開館時間 午前9時~午後4時30分  
入館料 一般200円 小中学生50円  
団体割引(20名以上) 一般150円 小中学生40円  
○ただし、次の方は無料  
満65歳以上の方、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者  
小中学校等の学校教育活動の場合  
○「きょうと子育て応援パスポート」が利用可能

ふるさとミュージアム丹後

(京都府立丹後郷土資料館)

〒629-2234 京都府宮津市宇国分小学天王山 611-1 TEL.0772-27-0230 FAX.0772-27-0020



海の京都



文化庁  
京都へ

# 豊富な雪解け水が暮らしを潤す糧となる

川へカゴモミ(和紙の原料加工)に向かう女性  
(宮津市畑 昭和55年)



箱ノリ(宮津市畑 昭和時代)



収穫(宮津市木子 昭和28年頃)



筒川祭の神楽(伊根町菅野 平成28年)



スキー板  
(宮津市木子 昭和時代)

昭和38年(1963)1月前後にかけて、大陸からの強い寒気団が日本列島を襲い、丹後半島は山間部を中心として未曾有の大雪に見舞われました。それは後に“昭和38年1月豪雪”または“サンパチ豪雪”と呼ばれ、今なお語り継がれています。この記録的な雪害の経験が引き金となり、山村に暮らす人々の離村が急速に進んだとされます。ただし、彼等が離村を選択した背景には、高度経済成長にともなう暮らしの変化、労働や子供の教育に関わる問題、資本主義経済や過疎化の影響等といった複雑な要因があったものと考えられます。

本展では、サンパチ豪雪から60年の節目に因み、山村の暮らしや文化を見つめ直す試みとして、当館が50余年に渡って収集してきた山村生活用具等を展示します。本展を通じて、“暮らしの豊かさ”とは何か、“丹後の廃村現象”から私達は何を学ぶ事ができるのか、という事について考えたいと思います。



日本政府宝くじ  
(京丹後市丹後町小島 昭和24年)

## 経済的な豊かさ



メシガマス(山行きの弁当入)  
(宮津市上世屋 昭和時代)



住山の離村者  
(京丹後市弥栄町野中 昭和40年代)  
『明治・大正・昭和の丹後』から転載

ヤマギ(仕事着)(宮津市上世屋 昭和56年)

## 冬の稼ぎと仕事



藤布を織る(宮津市上世屋 昭和56年2月)

### 表面画像キャプション

- ①雪に埋もれた上世屋の家屋(宮津市 昭和38年 中嶋利雄撮影)
- ②木子の古老(宮津市 昭和20~30年代 和田敬之助撮影)
- ③左から藤織りの達人・光野ためさん、コニャク作りの名人・田上寿枝さん、カンジキ作りの名人・田上逸郎さん(昭和~平成時代)



### 主な展示品

- 丹後の紡織用具及び製品(重要有形民俗文化財)
- 丹波・丹後の手漉き和紙生産用具(京都府指定有形民俗文化財)
- 丹後の山村生活用具
- へぎ地教育関連資料



紙すき同好会による紙漉き(於旧永島家住宅)

## 関連イベント Related Events

### 講演会

### 「消えない村-京丹後の離村集落とその後-」

日時 1月28日(土) 午後1時30分~3時

定員 30名

講師 小山 元孝さん 福知山公立大学地域経営学部教授  
・NPO法人TEAM旦波

### 講演会

### 「旧世屋・野間の人々の暮らしの中のいのり」

日時 3月11日(土) 午後1時30分~3時

定員 30名

講師 小野 泰昭さん 元与謝野町文化財審議委員会 会長

最新情報は  
こちらをチェック!



HP  
(ホームページ)



Instagram  
(インスタグラム)



Twitter  
(ツイッター)

## 関連展示 Related Exhibits

### 紙すき同好会作品展

(丹後郷土資料館友の会サークル)

会期 3月23日(水)~4月2日(日)

場所 旧永島家住宅(当館)



和紙人形

宮津市畑の伝統的な手漉き和紙技術を継承し、30余年にわたって活動を続ける会員の作品を展示します。

### 交通のご案内

ACCESS

- 京丹後鉄道宮豊線「天橋立駅」または「岩瀧口駅」から丹海バス伊根方面行き「丹後郷土資料館」下車。または「国分」下車徒歩5分
- 「与謝天橋立IC」から車で10分